

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：京都の文化を支える森林 - 森林の持続的管理に関する地域の知恵と生態学的知見からの検証 ILAS Seminar :The Forest Supporting Kyoto			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 教授 徳地 直子 フィールド科学教育研究センター 准教授 伊勢 武史 フィールド科学教育研究センター 助教 坂野上 なお		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2016・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 8月～9月のうち の3日間。	教室	芦生研究林、上賀茂試験地、北 白川試験地			使用言語	日本語
キーワード	森林生態系 / 里山 / 奥山 / 生態系サービス						
【授業の概要・目的】							
<p>京都は豊かな森林・水などの自然に支えられ、その資源を利用することによって古より発展を遂げきた。多くの文明が環境破壊と生態系サービスの劣化によって失われた事実とは対照的に、京都周辺には現在でも多くの森林や溪流が残り、京都の文化を支えている。本科目では、京都文化を支えるこれらの自然の利用方法や森林に対する人々の知恵を知り、生態学的手法を用いて評価検討し、将来の京都と森林自然の新しい関係を導きだす。</p> <p>本授業は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」(京都学教育プログラム)における「いきよし」として開講されるものである。</p>							
【到達目標】							
<p>京都における森林の状況を学習し、森林をめぐる環境問題に対し、実習を通じて得た科学的な知識に基づき、加えて地域との協働を経験することにより、周囲の状況も勘案し、対策できるようになるための基礎知識を習得する。</p>							
【授業計画と内容】							
<p>前期集中 実習期間は9月7-9日の3日間です。 加えて、上記期間以外、前期中に地域活動を予定しています。</p> <p>上賀茂試験地における里山の調査 芦生研究林における奥山の調査 北白川試験地におけるまとめ</p> <p>森林と人間の関わりに関する歴史的知見ならびに森林生態系に関する生態学的情報について学習する。 その後、京都大学が有する、里山として利用されてきた上賀茂試験地、原生的な状態に近い芦生研究林にて実習を行う。上賀茂試験地・芦生研究林において、森林がどのように管理され、人々がどのように森林を扱ってきたかを現地調査ならびに聞き取りで調査する。 実習では、現在全国的にも森林生態系を大きく変化させているシカの影響について、京都府南丹広域振興局と協働で芦生研究林においてシカ被害防除に関する実習も行う。 これらの講義・実習を通じて、学生はこれまでの自然と人間の関係についての知見を文献から得るだけでなく、聞き取りなども用い、必要な情報・情報の中からの現場力や取捨選択能力を養う。科学的には、生態学に基づいた森林生態系の更新維持メカニズムや生態系サービス発現メカニズムなど、基礎的かつ最新の知見を得る。これらの知識・知見を基に、将来の人間と森林自然のあり方</p>							
ILASセミナー：京都の文化を支える森林・森林の持続的管理に関する地域の知恵と生態学的知見からの検証(2)／6							

について学生同士ならびに地域のステークホルダーと検討を加え俯瞰力を養い、協働力・創造力を発揮させ、京都文化を発展させるためのシナリオを作成する。

【履修要件】

前期開講の、森里海連環学系科目 森里海連環学IおよびII を受講しておくことが望ましい。

【成績評価の方法・観点及び達成度】

レポート作成とその発表。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

(参考書)

伊勢武史 『学んでみると生態学はおもしろい』(ペレ出版)

森林立地学会編 『森のバランス』(東海大学出版会)

芦生の自然を守り生かす 『芦生の森からー関西の秘境』(ナカニシヤ出版)

山下洋 編 『森里海連環学』(京都大学学術出版会)

(関連URL)

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/>(京都大学フィールド科学教育研究センターHP)

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/asiu/>(芦生研究林HP)

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/kami/>(上賀茂試験地HP)

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/sira/>(北白川試験地HP)

【授業外学習(予習・復習)等】

事前に芦生研究林・上賀茂試験地・北白川試験地についてフィールドセンターのHPを確認すること。

実習前に課題を出し、実習時に提出してもらう。

【その他(オフィスアワー等)】

学生教育研究災害傷害保険に各自必ず加入しておくこと。

実習は芦生研究林および上賀茂試験地・北白川試験地で行います。

実習中の宿泊費・食費については実費(合計2-3000円程度)を徴収します。

開催時期により、前期の成績発表の時期に間に合わない可能性があります。